

平成28年度 郷土を愛する心を育む教育についての取組

鳥栖商業高校の特徴や誇れるもの

- 北に九千部山を仰ぎ、緑豊かな自然に囲まれた場所に、昭和46年4月に開校し、地域社会や商業の振興発展に大きく寄与している。
- 鳥栖市は交通の要所として発展し、物流の拠点として、「人」「もの」「情報」の交流が一層活発となっている。
- 平成23年3月には九州新幹線鹿児島ルートの全線開通に伴い、本校の近くに新鳥栖駅も完成した。
- また、新鳥栖駅前には、九州国際重粒子線がん治療センターが開設し、地域の新たな魅力の一つとなっている。
- 平成23年度、情報処理部が「第19回全国高等学校生徒商業研究発表大会」において、最優秀賞を受賞した。
- 平成15年度、野球部が「第85回全国高等学校野球選手権大会」で、ベスト8に進出した。
- 平成13年度、ダンス部が「2001ダンスコンベンション」で最優秀賞を獲得した。



ダンス部



「さがを誇りに思う教育講演会」

鳥栖市在住の武藤先生による講演が行われた。生徒が社会で活躍できるように、働く上で大切な考え方などを武藤先生の実体験を踏まえてお話をいただいた。心に残る言葉が多く、生徒は興味深く話を聞いていた。



講演の様子

鳥栖商業高等学校



学校所在地: 鳥栖市平田町1110番地8

連絡先: (0942) 83-2153

生徒数: 585名

ボランティア活動

日ごろ利用しているJRの駅や通学路などをきれいにするため、生徒会を中心清掃活動を行っている。

今年は鳥栖プレミアムアウトレットで清掃活動も行った。また、日本赤十字社主催の募金活動にも毎年参加している。



活動の様子

インタークト部の活動



バルーンのボランティア活動

インタークト部は、鳥栖市のロータリークラブと連携し、様々な活動を行っている。地域の募金活動、清掃活動の他、保育園・幼稚園・特別支援学校・福祉施設等の行事にボランティアとして積極的に参加している。

学校の誇れるものの紹介



鳥栖商業高校の特徴や誇れるもの

- ・北に九千部山を仰ぎ、緑豊かな自然に囲まれた場所に、昭和46年4月に開校し、地域社会や商業の振興発展に大きく寄与している。
- ・鳥栖市は交通の要所として発展し、物流の拠点として、「人」「もの」「情報」の交流が一層活発となっている。
- ・平成23年3月には九州新幹線鹿児島ルートの全線開通に伴い、本校の近くに新鳥栖駅も完成した。
- ・また、新鳥栖駅前には、九州国際重粒子線がん治療センターが開設し、地域の新たな魅力の一つとなっている。
- ・平成23年度、情報処理部が「第19回全国高等学校生徒商業研究発表大会」において、最優秀賞を受賞した。
- ・平成15年度、野球部が「第85回全国高等学校野球選手権大会」で、ベスト8に進出した。
- ・平成13年度、ダンス部が「2001ダンスコンベンション」で最優秀賞を獲得した。



ダンス部



「地域について学ぶ講演会」

佐賀の歴史や文化、人物などについてふれ、ふるさと佐賀について知り、佐賀を愛し誇りに感じる人材の育成を図るために講演会を行った。

地元の鳥栖市田代地域は、江戸時代に薬を作り歩く『田代売薬』が発祥した地です。

中富記念くすり博物館長より、「くすりを通じた鳥栖の歴史について」と題して講演していただいた。



学校所在地：鳥栖市平田町1110番地8

連絡先：(0942)83-2153

生徒数：582名

清掃ボランティア

日ごろ利用しているJRの駅や通学路をきれいにするため、生徒会が呼び掛け、全校生徒が参加して行われた。

生徒会は、今後も地域の方に喜ばれる活動を続けていきたいと意欲的に取り組んでいる。



活動の様子

インタークト部の活動



バルーンのボランティア活動

インタークト部は、創部30年を迎え、鳥栖市のロータリークラブと連携し、様々な活動を行っている。

地域の募金活動、清掃活動の他、保育園・幼稚園・特別支援学校・福祉施設等の行事にボランティアとして積極的に参加している。

学校の誇れるものの紹介



開校当時、鳥栖駅より寄贈された蘇鉄



平成27年度発当地グルメ
鳥栖商業開発商品
「どりこどんホットサンド」